

一 般 質 問 通 告 一 覧 表

令和5年第4回（12月）
No.1

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
梶原 哲朗	1. 小中学生の体育・文化活動にかかる島外遠征費への支援について	① 本町の児童生徒たちの島外への大会参加について、高速船、宿泊代等々保護者にとって多額の出費となっている。 中体連が主催する県大会、九州大会等には7,000円の助成があるようだが、それ以外の大会や助成のないスポ少等の大会等に補助することが広義に子育て支援につながると考える。 再編交付金を活用し、遠征費の補助をすべきと考えるが、町長の考えは。	町 長 教育長
	2. 旭町通りのにぎわい、活性化と空き地の有効活用について	我が中種子町も人口減少と高齢化に伴い旭町通りも次々に閉店し、いわゆるシャッター通りとなっている現状です。 今後のにぎわい作りについてどのように考えるか、町長の所感を伺う。 ① 旭町通り中心地にある更地が放置されている。地主さんの意向を聞き取り、可能なら緑地化、ベンチ設置等出来ないか検討すべきではないか。 ② 空き店舗の活用について、整備に対する補助制度があるが活用されているか。	町 長
永濱 一則	1. 首長としての政治姿勢を問う	① 首長として2期8年の町政運営の自己評価は。また、3期目がスタートして改めて施策に対しての首長の覚悟は。	町 長
	2. 職員の配置について	① 配置後短期で異動する職員を見受ける。 短期では仕事も覚えられない。立派な職員が育たないと思うが、町長の考えを問う。	町 長
戸田 和代	1. 基地建設に係るコンテナハウスについて	① 今現在、本町に設置されているコンテナハウスの数は。 また、今後どれくらい設置される予定か。	町 長
	2. 町民の安全確保について	① 工事関係者が増えている。事業者も安全教育等実施していると思うが、本町の安心・安全に対しての取組は。	町 長

一般質問通告一覧表

令和5年第4回（12月）
No.2

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
秋田 澄徳	1. 旧種子島空港に接続する町道及び県道の歩行者等安全対策について	① 小中学生や一般歩行者等の安全を確保するため、旧空港入り口に接続する町道伏之前・原之里線の必要区間に歩道・街路灯・区画線を設置する必要があると考える。再編交付金事業を活用した対策を求めるがいかがか。 ② ①同様に国道58号線から旧空港入り口に接続する県道589号線に歩道・街路灯と区画線を設置する旨、県に要請する必要があると考えるがいかがか。	町 長
	2. 町が管理する主要道路の安全対策について	① 町管理の主要道路は、路側の区画線、センターライン等の消滅が著しい。また、指定通学路やスクールバス運行路線では樹木等による走行妨害箇所が多いことから、歩行者と走行車両の安全性を確保する必要があると思われる。再編交付金事業を活用した対策を求めるがいかがか。	町 長
大町田 勇希	1. 奨学金制度について	① 現在、本町が独自に導入している奨学金の仕組みについて問う。 ② 現在の制度について改善すべき点はないか町長の見解を問う。	教育長 町 長
	2. 再編交付金について	① 馬毛島基地（仮称）建設に伴い、再編交付金が交付されているが、交付金の使用制限について問う。 ② 再編交付金の今後の使用用途について現在の方針を問う。	町 長
	3. よろーてファイルについて	① よろーてファイルの現在の活用状況について問う。 ② 1市2町で活用できるツールであると考察するが、現状の問題点について問う。	町 長

一般質問通告一覧表

令和5年第4回（12月）
No.3

質問者	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者
池山 朝生	1. 役場の職場環境について	① 早期退職者がいると聞く。しかも、経験値のある課長クラスと聞くが、事実か。 事実であればこの実態をどのように受けとめているか。	町 長
	2. 再編交付金の使われ方について	① 令和5年度の再編交付金は、5億1,827万円である。 11事業に1億4,700万円使われ、種子島こりーな空調設備更新事業に令和5・6年と2年間で2億2,273万円が充当されている、28年が経過している設備である。 設備の修繕等計画性に問題はなかったのか。 ② 自衛隊対策室が10月に新設された。再編交付金事業の計画、取りまとめ、防衛省との協議で主体的な役割を担う。このように言っているが、再編交付金事業の計画の取りまとめは、何をベースにやるのか、具体的に示せ。 ③ 防衛省に要望に行ったと聞く。どのような内容だったのか。	町 長
	3. 公有財産の有効活用について	9月議会の一般質問で自動車学校跡地をレンタル業者に貸すことがはたして有効な活用方法であったのかの質問に、町長は「公共施設の建設の場合時間がかかる。4、5年はかかると私は見込んでいる。それより利用してくれる方に貸して地代をもらえば町民のためになる」、このように答弁している。 ① いまもそのような考えか。 ② 地代年間979,000円の基準、根拠を示せ。 ③ 公有財産管理規則第32条にある公有財産管理者は必要があると認めたときは、担保提供、連帯保証人とあるが本契約では一切ない。 必要としなかった理由を示せ。	町 長
池山 喜一郎	1. サトウキビ収穫作業受託体制の充実強化について	① 今期のサトウキビは、サツマイモ基腐病の影響もあり、作付面積は、昨年より増加している反面、収穫受託組織の減少並びにオペレーター不足が加わり、ハーベスタ稼働台数が減少しており、受託組織毎の配分面積が大幅に増加している状況である。その影響により次年度に向けた適期管理作業が滞ることが懸念され、今後の基幹作物生産振興の足カセになることが危惧されることから、サトウキビ収穫作業受託体制の充実強化が急務と考えるが。	町 長
	2. 耕畜連携システムの推進について	① 令和5年第1回定例会において、このことについて「農業分野における総合的なシステムを再構築する。そのためのプロジェクトチームを立ち上げる方向で検討しています。」と答弁がありましたが、その後どのように進められているのか、伺う。	町 長